

登録コード	E4800900	開講年度	2026				
授業科目	教育実習事前・事後指導（初等）					担当教員	森下 孟 他
英文授業名	Student Teaching Seminar					副担当	谷塚 光典
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	水曜・午後(13:00-17:50)	対象学生	
講義室	教育図書 2 階講義室 教育 E 5 0 4 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
	他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル						
	理論と実践を往還する省察と改善の態度						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	教育実習に対する意欲的な取り組みの姿勢をもつことができるように、教育実践のすばらしさ・魅力に重点を置く。 教育実習への正しい認識を深め、意欲を喚起するために附属学校園の参観、実地指導を取り入れる。これまで学部で指導してきた教職教育をより実践的な観点から集約、ないしは再構成する。 「教育実習事前・事後指導」は、学部教員の協力を得て実施する。 現在の教育実践界に関する幅広い認識と理解をもつことができるように、できるだけ附属学校園、及び、県下の教育関係機関の協力を得て実施する。						
(5)授業計画	第 1 回：教育実習の意義の理解と自己課題の明確化 第 2 回：指導計画立案における目標分析 第 3 回：学校経営と教科・教科外の指導 第 4 回：指導計画立案における教材研究 第 5 回：目標・指導・評価の一体化 第 6 回：学習指導案の書き方 第 7 回：教師の振る舞いの基礎基本 第 8 回：魅力ある授業づくり ：学習意欲を高める方法 第 9 回：魅力ある授業づくり ：協働的な学びのデザイン 第10回：多様な子ども達への支援 第11回：反省的实践家としての教師 第12回：教育実習 リフレクション 第13回：研究授業・模擬授業から学び合うために 第14回：自分がめざす教師像 第15回：これからの教師に求められる授業力						
(6)成績評価の方法	・教職ポートフォリオ（履修カルテ）を作成したうえで、授業のねらいの到達度を測る毎回のeALPS上の課題の提出状況を総合して判定する。 教職ポートフォリオ（履修カルテ）が作成されていない場合は単位認定ができない。 主要な課題・レポートなどの提出がない場合は、単位の認定ができない場合がある。 各授業でのディスカッションへの参加状況や受講態度などに応じて成績評価を加味する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験について多面的・総合的にリフレクションしており卓越している。また、授業中の討論では、ディスカッションに積極的に参加して他の学生の意見を引き出しつつまとめ役をしている。 「かなり上である」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験について多面的にリフレクションしておりかなり上である。また、授業中の討論では、ディスカッションに積極的に参加しつつ他の学生の意見を引き出し出している。 「やや上にある」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験についてリフレクションしておりやや上にある。また、授業中の討論では、ディスカッションに積極的に参加している。 「水準にある」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己の教育実習経験についてリフレクションしており水準にある。また、授業中の討論では、ディスカッションに参加している。						
(8)事前事後学習の内容	・事前事後学習のために、e-Learningシステム（eALPS）を活用して授業を展開していく。 ・事前学習としては、eALPSにアップロードしてある各回の授業での配布物を事前にダウンロードしたり、eALPSに掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したり、教科書の内容を事前に読んでくることによって、問題意識や疑問点等を明確にしたうえで授業に参画する。 ・事後学習としては、各回の授業で学んだことや疑問に思ったこと、疑問に思ったこと、調査してわかったこと等をeALPSに記入し、学生間で共有する。 ・この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・「教育実習」受講者は、必ず履修すること。 ・「教育実習事前・事後指導」及び「教育実習」を受講するためには、2 年次終了時まで修得して						

(9)履修上の注意	おく単位数が決まっている。単位数や条件などは、学生便覧で確認すること。 ・無断欠席や未提出課題がある場合は「教育実習」を受講できないことがある。 ・各回の授業の前後にeALPSの当該コースにアクセスして、事前・事後学習に努めること。 ・別途定める「教育臨床経験科目の受講案内」にしたがって履修などすること。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・附属次世代型学び研究開発センター2F 森下研究室 E-mail: morisita@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応 ・北校舎2階N211 谷塚研究室 E-mail: yatsuka@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応
【教科書】	・稲垣編著『教育の方法と技術 Ver.2: IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房，2022年，2,200円＋税 ・森下孟，青木一編著『教師をめざす人のための臨床経験の理論と実践：「臨床の知」が拓く教員養成課程』北大路書房，2023年，3,000円＋税 ・文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，2018年，201円＋税
【参考文献】	・信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター『ICTを使いこなせる教員養成講座:1人1台端末とクラウド環境で授業できるようになるために』さくら社，2023年，2,000円＋税 ・授業のなかで適宜紹介する。